

証券コード： 4523

2011.9

参 考 資 料

平成 24 年 3 月期第 2 四半期決算



2011 年 11 月 1 日

お問い合わせ

エーザイ株式会社

PR 部・IR 部

TEL 03-3817-5120 FAX 03-3811-3077

<http://www.eisai.co.jp/ir/>

〔将来予想に関する事項と事業等のリスク〕

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競合・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性および品質に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ＩＴセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市場および為替の動向に関するリスク、内部統制の整備等に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク。

目次

1. 連結財務ハイライト	1
2. 連結損益計算書	3
3. 連結キャッシュ・フロー計算書	5
4. セグメント情報	6
5. セグメント別売上高予想	11
6. 連結貸借対照表	12
7. 連結四半期業績の推移	14
8. 個別情報	18
9. 株式の状況	19
10. 子会社・関連会社	21
11. 従業員数	23
12. 主なニュースリリース	24
13. 主要開発品	26

- * 前回発表した通期の業績予想を修正しております。修正箇所には下線を付しております。
- * 当資料中の数字は、切捨表示のある場合を除き、四捨五入で表示しております。
- * 当資料の作成に用いた為替レートは、下表のとおりであります。
- * 海外の損益情報については、期中平均レートを用いて円換算しております。

為替レート

		米国 (円/米ドル)	欧州 (円/ユーロ)	英国 (円/ポンド)	中国 (円/人民元)
2011年3月期	期中平均レート	88.95	113.84	134.99	13.08
第2四半期累計	期末日レート	83.82	114.24	132.67	12.52
2011年3月期	期中平均レート	85.72	113.12	133.13	12.76
	期末日レート	83.15	117.57	133.89	12.68
2012年3月期	期中平均レート	79.81	113.79	129.33	12.34
第2四半期累計	期末日レート	76.65	104.11	119.77	12.04
2012年3月期	第3・第4四半期予想レート	<u>77.00</u>	<u>100.00</u>	<u>115.00</u>	<u>12.00</u>

【本資料の記載項目について】

当社グループでは、企業評価において最も本質的な能力はキャッシュ創出力と考えております。この基本的考え方にに基づき、真の収益力を反映することを目的として、企業買収などで発生するのれん償却額や一括費用計上するインプロセス研究開発費、また、有形・無形固定資産の減価償却費、減損損失（投資有価証券評価損含む）という非キャッシュ損益項目を調整した「キャッシュ・インカム」「1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）」を表示しております。

* キャッシュ・インカム

成長投資、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。

算式：当期純損益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額
＋減損損失（投資有価証券評価損含む）

* 1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）

算式：キャッシュ・インカム÷期中平均株式数（自己株式控除後）

【セグメント情報について】

当社グループのセグメントは、医薬品事業とその他事業から構成されており、医薬品事業の各リージョンを報告セグメントとしております。2012年3月期より、医薬品事業をイースト・アジア（日本、中国、韓国、台湾、香港）、米国、欧州、ニューマーケット・アセアン（ブラジル、メキシコ、ロシア、カナダ、オーストラリア、インド、中東、東南アジア等）の4つの新しい報告セグメントとして構成いたしました。これに伴い、本資料のセグメント情報に関する2011年3月期の金額を新しい報告セグメントに基づいて記載しております。

1. 連結財務ハイライト

1) 損益計算書項目

(億円)

	第2四半期累計			通期	
	2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %	2011年 3月期	2012年 3月期(予)
売上高	4,123	3,310	80.3	7,689	6,540
売上原価	841	857	101.9	1,678	1,730
研究開発費	738	629	85.2	1,450	1,235
販売費・一般管理費	1,871	1,320	70.5	3,430	2,575
営業利益	672	504	75.1	1,131	1,000
経常利益	622	473	76.2	1,052	940
四半期(当期)純利益	399	333	83.4	674	675
キャッシュ・インカム	667	577	86.4	1,200	1,160
四半期包括利益又は包括利益	57	62	110.0	312	—
1株当たり配当金(DPS/円)	70.0	70.0	前年同期差 —	150.0	150.0
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS/円)	140.2	117.0	△23.3	236.5	236.9
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	234.3	202.4	△31.9	421.3	407.1

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	第2四半期累計			通期
	2011年 3月期	2012年 3月期	増減額	2011年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	846	364	△483	1,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△269	120	389	△588
財務活動によるキャッシュ・フロー	△435	△634	△200	△680
現金及び現金同等物の期末残高	1,196	812	△384	1,028
フリー・キャッシュ・フロー	765	287	△478	1,003

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

3) 貸借対照表項目

(億円)

	2011年		増減額
	3月末	9月末	
総資産	10,463	9,432	△1,031
負債	6,359	5,494	△866
社債	1,200	800	△400
借入金	2,599	2,560	△39
純資産	4,104	3,939	△165
自己資本	4,042	3,877	△165
自己資本比率(%)	38.6	41.1	2.5
負債比率(ネットDER/倍)	0.49	0.47	△0.02

*負債比率(ネットDER)＝(有利子負債(借入金＋社債)－現預金－有価証券)／自己資本

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

	第2四半期累計			(億円)
	2011年 3月期	2012年 3月期	増減額	通期 2011年 3月期
資本的支出額	72	69	△2	237
有形固定資産	52	45	△7	144
無形固定資産	20	24	5	93
減価償却費	221	207	△14	435

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

5) セグメント情報

(1) 報告セグメント別売上高

	第2四半期累計			(億円)
	2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %	通期 2011年 3月期
イースト・アジア 医薬品事業	1,853	1,996	107.7	3,757
うち、日本 医薬品事業	1,709	1,856	108.6	3,504
米国 医薬品事業	1,817	820	45.1	3,030
欧州 医薬品事業	221	238	108.0	444
ニューマーケット・アセアン 医薬品事業	35	37	105.5	69
その他	197	219	110.9	389
連結売上高	4,123	3,310	80.3	7,689

*外部顧客に対する売上高であります。

(2) 報告セグメント別利益

	第2四半期累計			(億円)
	2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %	
イースト・アジア 医薬品事業	756	841	111.4	
うち、日本 医薬品事業	723	809	111.9	
米国 医薬品事業	572	183	32.0	
欧州 医薬品事業	28	39	138.5	
ニューマーケット・アセアン 医薬品事業	6	5	87.4	
その他	91	105	115.6	
研究開発費	738	629	85.2	
親会社の本社管理費等	43	40	93.7	
連結営業利益	672	504	75.1	

*当社グループは、医薬品事業をイースト・アジア（日本、中国、韓国、台湾、香港）、米国、欧州、ニューマーケット・アセアン（ブラジル、メキシコ、ロシア、カナダ、オーストラリア、インド、中東、東南アジア等）で構成し、各リージョンの特性に応じた戦略を企画・推進しており、医薬品事業では、主に医療用医薬品の製造・販売を行っております。

当社グループのセグメントは、医薬品事業とその他事業から構成されており、医薬品事業の各リージョンを報告セグメントとしています。

2. 連結損益計算書

	第2四半期累計						通期	
	2011年 3月期	売上比 %	2012年 3月期	売上比 %	前年同期比 %	増減額	2011年 3月期	売上比 %
売上高	4,123	100.0	3,310	100.0	80.3	△813	7,689	100.0
売上原価	841	20.4	857	25.9	101.9	16	1,678	21.8
売上総利益	3,282	79.6	2,453	74.1	74.8	△828	6,011	78.2
研究開発費	738	17.9	629	19.0	85.2	△109	1,450	18.9
販売費・一般管理費	1,871	45.4	1,320	39.9	70.5	△552	3,430	44.6
人件費	408	9.9	399	12.0	97.6	△10	842	10.9
販売費	1,184	28.7	657	19.9	55.5	△527	2,026	26.3
管理費他	279	6.8	264	8.0	94.6	△15	563	7.3
営業利益	672	16.3	504	15.2	75.1	△167	1,131	14.7
営業外収益	12	0.3	11	0.3		△1	22	0.3
営業外費用	62	1.5	42	1.3		△20	101	1.3
経常利益	622	15.1	473	14.3	76.2	△148	1,052	13.7
特別利益	0	0.0	24	0.7		23	3	0.0
特別損失	16	0.4	1	0.0		△15	29	0.4
税金等調整前四半期（当期）純利益	606	14.7	497	15.0	81.9	△110	1,026	13.3
法人税、住民税及び事業税	231	5.6	142	4.3		△89	372	4.8
法人税等調整額	△26	△0.6	19	0.6		45	△24	△0.3
少数株主損益調整前四半期（当期）純利益	402	9.7	335	10.1	83.5	△66	678	8.8
少数株主利益	2	0.0	2	0.1		0	4	0.1
四半期（当期）純利益	399	9.7	333	10.1	83.4	△66	674	8.8

*売上原価には返品調整引当金繰入（戻入）額を含めて表示しております。

<キャッシュ・インカム>

四半期（当期）純利益	399	9.7	333	10.1	83.4	△66	674	8.8
有形・無形固定資産減価償却費	131		126				261	
買収に伴う無形固定資産減価償却費	90		81				174	
のれん償却額	40		36				78	
減損損失（投資有価証券評価損含む）	7		—				14	
キャッシュ・インカム	667	16.2	577	17.4	86.4	△91	1,200	15.6

<コメント>

売上高	・ アリセプト907億円の減少、パリエット／アシフェックス71億円の減少、がん関連領域製品68億円の増加（うち、ハラヴェン62億円増）
売上原価率の上昇	・ 主に米国における品目ミックスの変化
研究開発費の減少	・ 導入一時金の減少、為替の影響
販売費・一般管理費の減少	・ 米国でのアリセプト提携費用の減少、販売費・管理費の効率化
営業外損益	・ 為替差損の改善
特別損益	・ 退職給付信託設定益、投資有価証券売却益

<連結包括利益計算書>

(億円)

	第2四半期累計				通期
	2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %	増減額	2011年 3月期
少数株主損益調整前四半期（当期）純利益	402	335	83.5	△66	678
その他の包括利益	△345	△273	—	72	△366
その他有価証券評価差額金	△29	△19	—	11	△48
繰延ヘッジ損益	△6	△3	—	4	△2
為替換算調整勘定	△309	△252	—	57	△316
四半期包括利益又は包括利益	57	62	110.0	6	312
（内訳）					
親会社株主に係る包括利益	55	63	113.2	7	309
少数株主に係る包括利益	1	△1	—	△2	3

*連結包括利益計算書に関する2011年3月期第2四半期累計の金額および前期と比較した指標は「参考値」として表示しております。

3. 連結キャッシュ・フロー計算書

	(億円)		
	第2四半期累計		
	2011年 3月期	2012年 3月期	増減額
税金等調整前四半期純利益	606	497	△110
減価償却費	221	207	△14
売上債権・仕入債務及びたな卸資産の増減額	△58	5	63
未払金・未払費用等の増減額	36	△114	△150
その他	142	43	△99
(小 計)	947	638	△309
利息等の受取及び支払額	△27	△27	0
法人税等の支払額	△73	△247	△174
営業活動によるキャッシュ・フロー	846	364	△483
資本的支出等（買収などを含む）	△82	△77	5
有価証券・投資有価証券の取得・売却等	2	146	145
3カ月超預金の純増減額	△194	50	244
その他	5	1	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△269	120	389
短期借入金の純増減額	△200	—	200
社債の償還による支出	—	△400	△400
配当金の支払額	△228	△228	△0
その他	△7	△6	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△435	△634	△200
現金及び現金同等物に係る換算差額	△98	△66	33
現金及び現金同等物の増減額	45	△216	△261
現金及び現金同等物の期首残高	1,151	1,028	△123
現金及び現金同等物の期末残高	1,196	812	△384
フリー・キャッシュ・フロー	765	287	△478

*フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（買収などを含む））

<コメント>

■営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・税金等調整前四半期純利益の減少
- ・法人税等の支払い

■投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・有価証券・投資有価証券の売却による収入

■財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・社債の満期償還および現金配当等による支出

4. セグメント情報

1) イースト・アジア 医薬品事業

(億円)

	第2四半期累計			通期
	2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %	2011年 3月期
売上高	1,853	1,996	107.7 <108.1>	3,757
セグメント利益	756	841	111.4	

イースト・アジア 売上高明細

日本 売上高	1,709	1,856	108.6	3,504
医療用医薬品	1,525	1,659	108.7	3,111
一般用医薬品等	97	105	107.9	207
ジェネリック医薬品（エルメッド エーザイ）	57	63	111.7	124
診断薬（エーディア）	30	29	98.2	61

日本 医療用医薬品 主力品売上高

アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	509	576	113.1	1,055
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	299	297	99.3	602
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	156	150	96.3	304
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	57	97	170.6	133
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	58	57	99.1	115
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	60	51	85.5	114
経口抗凝固剤 ワーファリン	48	48	101.2	96
抗がん剤 ハラヴェン	—	6	—	—

日本 一般用医薬品等 主力品グループ売上高

ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	54	58	107.5	99
------------------------------------	----	----	-------	----

*医療用医薬品の2012年3月期第2四半期累計の売上高には、リリカの共同販促収入49億円が含まれております。

中国 売上高	億円	85	83	98.0 <103.9>	141
中国 主力品売上高					
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	億円 (百万人民币)	39 (299)	38 (305)	96.0 <101.8>	60 (474)
肝臓疾患用剤・アレルギー用剤 強力ネオミノファージェンシー／グリチロン錠	億円 (百万人民币)	16 (121)	17 (139)	107.9 <114.3>	30 (234)
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円 (百万人民币)	6 (50)	7 (61)	115.4 <122.4>	13 (99)
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円 (百万人民币)	8 (63)	5 (42)	62.5 <66.3>	11 (86)

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値であります。

2) 米国 医薬品事業

		第2四半期累計		
		2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	1,817	820	45.1 <50.3>
セグメント利益	億円	572	183	32.0
米国 主力品売上高				
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	億円 (百万米ドル)	340 (382)	285 (358)	83.9 <93.5>
制吐剤 Aloxi	億円 (百万米ドル)	173 (195)	183 (229)	105.6 <117.7>
DNAメチル化阻害剤 Dacogen	億円 (百万米ドル)	84 (94)	85 (106)	101.1 <112.7>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円 (百万米ドル)	1,061 (1,192)	73 (92)	6.9 <7.7>
血液凝固阻止剤 Fragmin	億円 (百万米ドル)	86 (96)	73 (91)	84.7 <94.4>
抗がん剤 ハラヴェン	億円 (百万米ドル)	— —	51 (64)	— —

*アリセプトの2012年3月期第2四半期累計の売上高のうち、アリセプト錠23mgの売上高は19億円（23百万米ドル）

AG (Authorized Generic:先発メーカーの許可を得て発売されるジェネリック医薬品) 関連の売上高は28億円（35百万米ドル）であります。

3) 欧州 医薬品事業

		第2四半期累計		
		2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	221	238	108.0 <108.5>
セグメント利益	億円	28	39	138.5
欧州 主力品売上高				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円	116	127	109.4 <110.3>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円	37	27	74.0 <74.3>
てんかん治療剤 ゾネグラン	億円	21	23	110.3 <110.6>
抗がん剤 ハラヴェン	億円	—	5	—

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値であります。

4) ニューマーケット・アセアン 医薬品事業

		第2四半期累計		
		2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %
売上高	億円	35	37	105.5 <111.0>
セグメント利益	億円	6	5	87.4
ニューマーケット・アセアン 主力品売上高				
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円	9	10	107.2 <113.1>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円	8	9	111.7 <117.4>
末梢性神経障害治療剤 メチコバール	億円	7	6	91.5 <94.7>

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値であります。

5) 主力品売上高

(1) アリセプト (アルツハイマー型認知症治療剤)

		第2四半期累計			通期
		2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %	2011年 3月期
アリセプト計	億円	1,721	814	47.3 <47.9>	2,904
イースト・アジア	億円	536	604	112.7 <112.9>	1,108
日本	億円	509	576	113.1	1,055
米国	億円 (百万米ドル)	1,061 (1,192)	73 (92)	6.9 <7.7>	1,534 (1,790)
欧州	億円	116	127	109.4 <110.3>	244
ニューマーケット・アセアン	億円	8	9	111.7 <117.4>	18

*アリセプトの2012年3月期第2四半期累計の売上高のうち、アリセプト錠23mgの売上高は19億円 (23百万米ドル)、AG (Authorized Generic:先発メーカーの許可を得て発売されるジェネリック医薬品) 関連の売上高は28億円 (35百万米ドル) であります。

(2) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害剤)

		第2四半期累計			通期
		2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %	2011年 3月期
パリエット/アシフェックス計	億円	703	633	90.0 <94.8>	1,369
イースト・アジア	億円	318	311	97.8 <98.0>	632
日本	億円	299	297	99.3	602
米国	億円 (百万米ドル)	340 (382)	285 (358)	83.9 <93.5>	656 (765)
欧州	億円	37	27	74.0 <74.3>	64
ニューマーケット・アセアン	億円	9	10	107.2 <113.1>	18

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値であります。

(3) がん関連領域製品

		第2四半期累計			通期
		2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %	2011年 3月期
がん関連領域製品計	億円	395	463	117.2 <129.5>	803
ハラヴェン（抗がん剤）	億円	—	62	—	22
イースト・アジア	億円	—	6	—	—
日本	億円	—	6	—	—
米国	億円 (百万米ドル)	—	51 (64)	—	22 (25)
欧州	億円	—	5	—	—
ニューマーケット・アセアン	億円	—	0	—	—
Aloxi（制吐剤）					
米国	億円 (百万米ドル)	173 (195)	183 (229)	105.6 <117.7>	346 (403)
Dacogen（DNAメチル化阻害剤）					
米国	億円 (百万米ドル)	84 (94)	85 (106)	101.1 <112.7>	162 (189)
Fragmin（血液凝固阻止剤）					
米国	億円 (百万米ドル)	86 (96)	73 (91)	84.7 <94.4>	164 (191)
その他*	億円	52	60	115.4	110

*その他の製品の2012年3月期第2四半期累計の売上高には、トリアキシン／シンベンダの売上高が16億円含まれております。

(4) ヒュミラ（ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体）

		第2四半期累計			通期
		2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %	2011年 3月期
ヒュミラ計	億円	73	114	155.2 <155.7>	166
日本	億円	57	97	170.6	133

*前年同期比の< >内は為替の影響を除いた数値であります。

6) 海外売上高

		第2四半期累計			(億円) 通期
		2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %	2011年 3月期
海外売上高		2,332	1,373	58.9	4,014
海外売上高比率（%）		56.6	41.5	—	52.2

*外部顧客に対する売上高であります。

5. セグメント別売上高予想（2012年3月期）

	第2四半期累計 2012年 3月期	（億円） 通期	
		2011年 3月期	2012年 3月期(予)
イースト・アジア	1,996	3,757	4,080
日本	1,856	3,504	3,805
医療用医薬品	1,659	3,111	3,380
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	576	1,055	1,140
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	297	602	<u>600</u>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	150	304	300
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	97	133	220
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	57	115	<u>120</u>
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	51	114	<u>100</u>
経口抗凝固剤 ワーファリン	48	96	100
一般用医薬品等	105	207	220
ビタミンB ₂ 主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	58	99	110
ジェネリック医薬品（エルメッド エーザイ）	63	124	140
診断薬（エーディア）	29	61	65
中国	83	141	<u>168</u>
米国	820	3,030	<u>1,529</u>
欧州	238	444	<u>440</u>
ニューマーケット・アセアン	37	69	<u>75</u>
その他	219	389	<u>416</u>
連結売上高	3,310	7,689	<u>6,540</u>

*アリセプトの2012年3月期の売上高予想の総計は1,560億円を見込んでおります。

*パリエット／アシフェックスの2012年3月期の売上高予想の総計は1,250億円を見込んでおります。

*ハラヴェンの2012年3月期の売上高予想の総計は185億円を見込んでおります。

6. 連結貸借対照表

1) 貸借対照表＜資産の部＞

(億円)

	2011年 3月末	構成比 %	2011年 9月末	構成比 %	前期末比 %	増減額
流動資産	5,094	48.7	4,714	50.0	92.5	△380
現金及び預金	1,114		966			△147
受取手形及び売掛金	1,952		1,912			△41
有価証券	703		572			△131
たな卸資産	708		698			△10
繰延税金資産	392		384			△8
その他	226		184			△42
貸倒引当金	△1		△1			△0
固定資産	5,369	51.3	4,719	50.0	87.9	△651
有形固定資産	1,491	14.3	1,402	14.9	94.0	△89
建物及び構築物	852		813			△39
その他	639		589			△50
無形固定資産	2,682	25.6	2,353	24.9	87.7	△329
のれん	1,285		1,148			△137
販売権	830		693			△137
技術資産	437		390			△47
その他	130		122			△9
投資その他の資産	1,196	11.4	964	10.2	80.6	△232
投資有価証券	546		342			△204
繰延税金資産	578		557			△21
その他	74		67			△8
貸倒引当金	△2		△2			0
資産合計	10,463	100.0	9,432	100.0	90.1	△1,031

＜コメント＞

■資産合計

- ・現金及び預金、有価証券：社債満期償還（４００億円）による減少
- ・投資有価証券：資産の効率化による減少
- ・為替変動による海外子会社資産の円換算額の減少

2) 貸借対照表<負債及び純資産の部>

(億円)

	2011年 3月末	構成比 %	2011年 9月末	構成比 %	前期末比 %	増減額
流動負債	2,251	21.5	1,873	19.9	83.2	△378
支払手形及び買掛金	220		235			15
1年内返済予定の長期借入金	—		400			400
1年内償還予定の社債	400		—			△400
未払金・未払費用	1,052		867			△186
未払法人税等	241		127			△114
売上割戻引当金	239		153			△85
その他	99		92			△7
固定負債	4,108	39.3	3,620	38.4	88.1	△488
社債	800		800			0
長期借入金	2,599		2,160			△439
繰延税金負債	248		212			△36
退職給付引当金	292		279			△13
その他	169		170			1
負債合計	6,359	60.8	5,494	58.2	86.4	△866
株主資本	5,108	48.8	5,214	55.3	102.1	106
資本金	450		450			—
資本剰余金	569		569			△0
利益剰余金	4,484		4,589			105
自己株式	△395		△395			0
その他の包括利益累計額	△1,066	△10.2	△1,337	△14.2	125.4	△271
その他有価証券評価差額金	1		△18			△18
繰延ヘッジ損益	△8		△11			△3
為替換算調整勘定	△1,059		△1,309			△250
新株予約権	9	0.1	9	0.1	106.8	1
少数株主持分	53	0.5	52	0.6	98.5	△1
純資産合計	4,104	39.2	3,939	41.8	96.0	△165
負債純資産合計	10,463	100.0	9,432	100.0	90.1	△1,031

<コメント>

■負債合計

- ・社債満期償還による減少
- ・法人税等の支払いによる未払法人税等の減少

■純資産合計

- ・円高による海外子会社純資産の円換算額の減少

7. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2011年3月期				2012年3月期	
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
売上高	2,045	2,078	2,016	1,551	1,673	1,637
売上原価	435	406	432	404	430	427
研究開発費	360	378	323	389	337	292
販売費・一般管理費	921	950	838	721	684	636
営業利益	328	344	422	37	222	282
経常利益	302	320	406	25	212	262
四半期純利益	188	212	274	0	135	198
キャッシュ・インカム	326	342	399	134	259	318
四半期包括利益	△8	65	182	73	47	15
1株当たり四半期純利益 (EPS/円)	65.9	74.3	96.2	0.1	47.4	69.6
1株当たりキャッシュ・インカム (キャッシュEPS/円)	114.4	119.9	139.9	47.1	90.8	111.6

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2011年3月期				2012年3月期	
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	282	565	205	181	78	286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51	△218	△76	△243	282	△162
財務活動によるキャッシュ・フロー	△311	△123	△163	△83	△631	△3
現金及び現金同等物の期末残高	1,014	1,196	1,136	1,028	739	812
フリー・キャッシュ・フロー	239	526	140	98	42	245

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

3) 貸借対照表項目

(億円)

	2011年3月期				2012年3月期	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
総資産	10,655	10,642	10,542	10,463	9,596	9,432
負債	6,674	6,596	6,513	6,359	5,672	5,494
社債	1,200	1,200	1,200	1,200	800	800
借入金	2,791	2,643	2,669	2,599	2,584	2,560
純資産	3,981	4,046	4,029	4,104	3,923	3,939
自己資本	3,923	3,987	3,969	4,042	3,861	3,877
自己資本比率(%)	36.8	37.5	37.6	38.6	40.2	41.1
負債比率(ネットDER/倍)	0.65	0.51	0.53	0.49	0.56	0.47

*負債比率(ネットDER)＝(有利子負債(借入金＋社債)－現預金－有価証券)／自己資本

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2011年3月期				2012年3月期	
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
資本的支出額	35	37	67	98	27	42
有形固定資産	25	28	39	53	18	27
無形固定資産	10	9	28	45	9	16
減価償却費	114	107	107	107	105	102

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

5) 主力品売上高

(1) アリセプト

		2011年3月期				2012年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
アリセプト計	億円	829	891	756	427	420	393
イースト・アジア	億円	265	270	307	266	300	304
日本	億円	253	256	295	251	285	290
米国	億円 (百万米ドル)	502 (545)	559 (647)	378 (464)	96 (133)	47 (57)	26 (35)
欧州	億円	58	58	66	62	68	59
ニューマーケット・アセアン	億円	4	4	5	4	5	4

(2) パリエット／アシフェックス

		2011年3月期				2012年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
パリエット／アシフェックス計	億円	353	351	387	279	332	301
イースト・アジア	億円	160	157	196	119	155	156
日本	億円	151	148	189	114	148	149
米国	億円 (百万米ドル)	170 (185)	170 (198)	173 (209)	143 (174)	158 (194)	127 (164)
欧州	億円	18	19	14	13	14	13
ニューマーケット・アセアン	億円	5	4	4	4	4	5

(3) がん関連領域製品

		2011年3月期				2012年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
がん関連領域製品計	億円	203	192	202	206	240	223
ハラヴェン	億円	—	—	4	18	26	36
イースト・アジア	億円	—	—	—	—	—	6
日本	億円	—	—	—	—	—	6
米国	億円 (百万米ドル)	—	—	4 (5)	18 (21)	25 (31)	26 (33)
欧州	億円	—	—	—	—	1	4
ニューマーケット・アセアン	億円	—	—	—	—	0	0
Aloxi							
米国	億円 (百万米ドル)	88 (96)	85 (99)	92 (111)	81 (98)	97 (118)	86 (111)
Dacogen							
米国	億円 (百万米ドル)	43 (47)	41 (47)	38 (46)	40 (48)	49 (60)	36 (46)
Fragmin							
米国	億円 (百万米ドル)	43 (47)	42 (49)	39 (48)	38 (47)	35 (43)	37 (48)
その他	億円	28	24	28	30	33	27

(4) ヒュミラ

		2011年3月期				2012年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
ヒュミラ計	億円	35	38	45	47	55	59
日本	億円	26	30	38	38	46	50

8. 個別情報

1) 個別財務ハイライト

(1) 損益計算書項目

	第2四半期累計			(億円)
	2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %	通期 2011年 3月期
売上高	2,359	2,092	88.7	4,646
売上原価	454	465	102.6	918
研究開発費	635	585	92.2	1,274
販売費・一般管理費	627	660	105.3	1,318
営業利益	643	381	59.3	1,135
経常利益	603	361	59.9	1,069
四半期（当期）純利益	407	264	64.9	734

*売上原価には返品調整引当金繰入（戻入）額を含めて表示しております。

(2) キャッシュ・フロー計算書項目

	第2四半期累計			(億円)
	2011年 3月期	2012年 3月期	増減額	通期 2011年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	707	340	△367	1,286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241	173	415	△495
財務活動によるキャッシュ・フロー	△433	△633	△200	△677
現金及び現金同等物の期末残高	149	111	△38	231
フリー・キャッシュ・フロー	659	299	△359	1,161

*フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（買収などを含む））

(3) 貸借対照表項目

	2011年			(億円)
	3月末	9月末	増減額	
総資産	9,837	9,291	△547	
負債	4,565	3,998	△567	
社債	1,200	800	△400	
借入金	2,100	2,100	－	
純資産	5,272	5,293	20	
自己資本	5,263	5,283	20	
自己資本比率（％）	53.5	56.9	3.4	

2) 売上高の状況

	第2四半期累計			(億円)
	2011年 3月期	2012年 3月期	前年同期比 %	通期 2011年 3月期
売上高	2,359	2,092	88.7	4,646
医療用医薬品	1,525	1,661	108.9	3,110
一般用医薬品等	98	106	108.2	209
工業所有権等収益	447	131	29.2	794
医薬品輸出	281	190	67.7	517
その他	8	5	62.9	16

9. 株式の状況

1) 発行株式数・株主数の状況

2011年9月30日現在

発行可能株式総数	発行済株式の総数	自己株式数	株主数	株主1人当たりの 平均持株数
1,100,000,000株	296,566,949株	11,598,412株	115,781	2,561株

*発行済株式の総数は自己株式数を含めて表示しております。

2) 大株主の状況

2011年9月30日現在

株主名	持株数	持株比率 %
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	15,678千株	5.29
日本生命保険相互会社	15,344千株	5.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	15,254千株	5.14
株式会社埼玉りそな銀行	10,000千株	3.37
エーザイ従業員持株会	7,158千株	2.41
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	6,873千株	2.32
ジェーピー モルガン チェース バンク 385147	5,793千株	1.95
株式会社みずほコーポレート銀行	4,680千株	1.58
公益財団法人内藤記念科学振興財団	4,207千株	1.42
株式会社みずほ銀行	3,617千株	1.22

*自己株式は11,598千株（3.91％）であり、議決権がないため除いております。

*株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

3) 所有者別株主数推移

	2011年 3月末	構成比 %	2011年 9月末	構成比 %	増減
金融機関	195	0.1	180	0.2	△15
金融商品取引業者（証券会社）	50	0.0	53	0.0	3
その他の法人	1,263	0.9	1,170	1.0	△93
外国法人等	534	0.4	556	0.5	22
個人・その他	131,346	98.5	113,821	98.3	△17,525
自己株式	1	0.0	1	0.0	0
合計	133,389	100.0	115,781	100.0	△17,608

4) 所有者別所有株式数推移

	2011年 3月末	構成比 %	2011年 9月末	構成比 %	増減
金融機関	112,124千株	37.8	112,838千株	38.0	714千株
金融商品取引業者（証券会社）	5,873千株	2.0	5,095千株	1.7	△777千株
その他の法人	24,082千株	8.1	23,756千株	8.0	△326千株
外国法人等	44,714千株	15.1	56,441千株	19.0	11,727千株
個人・その他	98,163千株	33.1	86,835千株	29.3	△11,327千株
自己株式	11,608千株	3.9	11,598千株	3.9	△9千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	—

*株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

5) 所有株数別株主数推移

	2011年 3月末	構成比 %	2011年 9月末	構成比 %	増減
100万株以上	40	0.0	47	0.0	7
10万～100万株未満	162	0.1	162	0.1	0
1万～10万株未満	1,193	0.9	1,099	0.9	△94
1,000～1万株未満	25,954	19.5	22,676	19.6	△3,278
100～1,000株未満	100,749	75.5	86,626	74.8	△14,123
100株未満	5,291	4.0	5,171	4.5	△120
合計	133,389	100.0	115,781	100.0	△17,608

6) 所有株数別分布推移

	2011年 3月末	構成比 %	2011年 9月末	構成比 %	増減
100万株以上	145,585千株	49.1	159,612千株	53.8	14,026千株
10万～100万株未満	49,060千株	16.5	46,504千株	15.7	△2,555千株
1万～10万株未満	25,620千株	8.6	24,242千株	8.2	△1,377千株
1,000～1万株未満	51,219千株	17.3	44,870千株	15.1	△6,348千株
100～1,000株未満	24,899千株	8.4	21,157千株	7.1	△3,742千株
100株未満	181千株	0.1	178千株	0.1	△2千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	—

*株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

10. 子会社・関連会社

1) 連結子会社(53社)

(1) 海外(42社)

2011年9月30日現在

会社名	所在地	資本金または 出資金	議決権の 所有割合 %	主な事業内容
Eisai Corporation of North America	米国 ニュージャージー州	3,416,700 千USD	100.00	米州持株会社
Morphotek, Inc.	米国 ペンシルバニア州	355,000 千USD	100.00	医薬品の研究開発
Eisai Inc.	米国 ニュージャージー州	151,600 千USD	100.00	医薬品の研究開発・製造・販売
Eisai Machinery U.S.A. Inc.	米国 ニュージャージー州	1,000 千USD	100.00	製薬用機械の販売
H3 Biomedicine Inc.	米国 マサチューセッツ州	8 千USD	100.00	医薬品の研究開発
Eisai Ltd.	カナダ オンタリオ州	10,000 千CAD	100.00	医薬品の販売
Eisai Participações Ltda.	ブラジル サンパウロ	0 千BRL	100.00	—
Eisai Laboratorios S. de R.L. de C.V.	メキシコ メキシコシティ	50 千MXN	100.00	—
Eisai Europe Ltd.	英国 ハートフォードシャー	184,137 千GBP	100.00	欧州統括・持株会社、 医薬品の販売
Eisai Ltd.	英国 ハートフォードシャー	46,008 千GBP	100.00	医薬品の研究開発・販売
Eisai Manufacturing Ltd.	英国 ハートフォードシャー	38,806 千GBP	100.00	医薬品の製造
Eisai GmbH	ドイツ フランクフルト	7,669 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai Machinery GmbH	ドイツ ケルン	1,278 千EUR	100.00	製薬用機械の販売
Eisai S.A.S.	フランス パリ	19,500 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai B.V.	オランダ アムステルダム	540 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai Farmacéutica S.A.	スペイン マドリッド	4,000 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai S.r.l.	イタリア ミラノ	3,500 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai Pharma AG	スイス チューリッヒ	3,000 千CHF	100.00	医薬品の販売
Eisai AB	スウェーデン ストックホルム	10,000 千SEK	100.00	医薬品の販売
Eisai Farmacêutica, Unipessoal Lda.	ポルトガル リスボン	4,000 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai SA/NV	ベルギー ブリュッセル	7,000 千EUR	100.00	—
Eisai GesmbH	オーストリア ウィーン	2,000 千EUR	100.00	医薬品の販売
Eisai Asia Regional Services Pte. Ltd.	シンガポール	26,400 千SGD	100.00	アジア持株会社
Eisai (Singapore) Pte. Ltd.	シンガポール	300 千SGD	100.00	医薬品の販売
Eisai Clinical Research Singapore Pte. Ltd.	シンガポール	10 千SGD	100.00	医薬品の研究開発
衛材(中国)薬業有限公司	中国 江蘇省	374,205 千人民元	100.00	医薬品の製造・販売
衛材(蘇州)貿易有限公司	中国 江蘇省	20,000 千人民元	100.00	医薬品の販売
衛材機械科技发展(上海)有限公司	中国 上海	200 千USD	100.00	製薬用機械の販売支援・ メンテナンス
Eisai (Hong Kong) Co., Ltd.	中国 香港	500 千HKD	100.00	医薬品の販売
PT Eisai Indonesia	インドネシア ジャカルタ	5,000 千USD	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai (Malaysia) Sdn. Bhd.	マレーシア ベタリンジャヤ	470 千MYR	100.00	医薬品の販売
Eisai (Thailand) Marketing Co., Ltd.	タイ バンコク	11,000 千THB	49.91	医薬品の販売
衛采製薬股份有限公司	台湾 台北	270,000 千TWD	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai Korea Inc.	韓国 ソウル	3,512 百万KRW	100.00	医薬品の販売
HI-Eisai Pharmaceutical Inc.	フィリピン マニラ	62,000 千PHP	50.00	医薬品の販売
Eisai Pharmatechnology & Manufacturing Pvt. Ltd.	インド アンドラ・プラデシュ州	2,404 百万INR	100.00	医薬品の工業化研究・製造
Eisai Pharmaceuticals India Pvt. Ltd.	インド マハラシュトラ州	160 百万INR	100.00	医薬品の販売
Eisai Australia Pty. Ltd.	オーストラリア シドニー	1,000 千AUD	100.00	医薬品の販売

(その他4社)

*当社の連結子会社は衛材(中国)薬業有限公司、衛材(蘇州)貿易有限公司、衛材機械科技发展(上海)有限公司(共に12月決算)を除き3月決算であります。

なお、これらの連結子会社は連結決算日での仮決算を行っております。

*Eisai (Thailand) Marketing Co., Ltd.、HI-Eisai Pharmaceutical Inc. の持分は100分の50以下であります。実質的に支配しているため、連結子会社としております。

*2011年4月に医薬品販売会社であるEisai Participações Ltda.をブラジルに設立いたしました。

*2011年8月に医薬品販売会社であるEisai Laboratorios S. de R.L. de C.V.をメキシコに設立いたしました。

*資本金または出資金は切捨てて表示しております。

(2) 国内(11社)

2011年9月30日現在

会社名	所在地	資本金	議決権の 所有割合 %	主な事業内容
エーディア株式会社	東京都千代田区	5,262 百万円	100.00	診断用医薬品等の製造・販売
サンノーバ株式会社	群馬県太田市	926 百万円	80.01	医薬品の製造・販売
エルメッド エーザイ株式会社	東京都豊島区	450 百万円	100.00	医薬品の販売
エーザイフード・ケミカル株式会社	東京都中央区	101 百万円	100.00	食品添加物、化学品等の販売
エーザイマシナリー株式会社	東京都文京区	100 百万円	100.00	製薬用機械等の製造・販売
株式会社カン研究所	兵庫県神戸市	70 百万円	100.00	医薬品の研究開発
エーザイ物流株式会社	神奈川県厚木市	60 百万円	100.00	医薬品の搬送
株式会社パルマビーズ研究所	東京都千代田区	50 百万円	100.00	診断用医薬品等の研究開発
エーザイ・アール・アンド・ディー・ マネジメント株式会社	東京都文京区	13 百万円	100.00	医薬品の研究開発の管理・運営
株式会社サンブラネット	東京都文京区	455 百万円	84.89	業務サービス、給食、印刷、 不動産の管理
エーザイ生科研株式会社	熊本県西原村	50 百万円	70.37	農業用資材の製造・販売

*資本金は切捨てて表示しております。

*三光純薬株式会社は2011年4月1日に社名をエーディア株式会社に変更いたしました。

2) 持分法適用関連会社(1社)

2011年9月30日現在

会社名	所在地	資本金	議決権の 所有割合 %	主な事業内容
ブラッコ・エーザイ株式会社	東京都文京区	340 百万円	49.00	造影剤の輸入・製造・販売

*ブラッコ・エーザイ株式会社は12月決算であります。

*資本金は切捨てて表示しております。

1 1. 従業員数

1) 連結従業員数

	(人)			
	2009年 3月末	2010年 3月末	2011年 3月末	2011年 9月末
連結期末従業員数	10,977	11,415	11,560	10,952
日本	5,592	5,675	5,636	5,657
米州	2,647	2,701	2,559	1,966
欧州	951	1,015	1,015	933
アジア他	1,787	2,024	2,350	2,396

2) 個別従業員数

	(人)			
	2009年 3月末	2010年 3月末	2011年 3月末	2011年 9月末
個別期末従業員数	4,308	4,367	4,322	4,280
生産	801	774	757	707
研究	1,174	1,236	1,196	1,071
販売・管理	2,333	2,357	2,369	2,502

*期末従業員数は、就業人員数（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む）を表示しております。

12. 主なニュースリリース

年 月 日	概 要
2011年4月 4日	・ PRISM BioLab株式会社とCBP/ β -カテニン阻害剤と類縁化合物に関する共同研究開発契約を締結
5日	・ 子会社Morphotek, Inc.、TransMolecular, Inc.のがん領域創薬研究資産を取得（契約締結は2011年3月）
8日	・ ブラジルに医薬品販売会社を設立
22日	・ 抗がん剤「ハラヴェン」、日本で手術不能又は再発乳がんの適応で承認を取得 ・ 膵消化酵素補充剤「リパクレオン」、日本で膵外分泌機能不全における膵消化酵素の補充のヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体「ヒュミラ」、日本において
25日	・ アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」パッチ製剤、米国食品医薬品局（FDA）より審査完了報告通知を受領
2011年5月 13日	・ 当社使用人に対してストックオプションとして新株予約権を発行する件
17日	・ 抗がん剤「ハラヴェン」、後期転移性乳がんの適応でスイス連邦医薬品庁より承認を取得
20日	・ 米国臨床腫瘍学会でエーザイのがん領域の開発品・製品に関する最新試験データを発表 ・ カルシウム拮抗性不整脈治療剤「ワソラン」、日本で小児の効能・効果および用法・用量の追加承認を取得
23日	・ 米国南部で発生した大規模竜巻に対する被災者救済支援について ー米国赤十字社を通して義援金20万USドルを寄付ー
25日	・ 英国University College Londonとの連携が新たなフェーズに
2011年6月 2日	・ マルチキナーゼ阻害剤「E7080」が進行性放射性ヨウ素治療抵抗性分化型甲状腺がんを対象とする第Ⅱ相臨床試験で59%の奏功率を実証
7日	・ DNAメチル化阻害剤「Dacogen」注射剤の急性骨髄性白血病に対する第Ⅲ相臨床試験結果が米国臨床腫瘍学会で発表される
10日	・ 「チョコラBBスパークリング」（栄養機能食品）、栄養成分の一部誤表示によるラベル交換のための自主回収
21日	・ スtockオプション（新株予約権）の割当に関するお知らせ
24日	・ 欧州医薬品庁がAMPA受容体拮抗剤「ペランパネル（E2007）」の新薬承認申請を受理
28日	・ てんかん治療剤「BANZEL」、カナダで承認を取得
2011年7月 1日	・ ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体「ヒュミラ」、日本において若年性特発性関節炎に関する追加適応および新製剤の承認を取得
7日	・ スtockオプション（新株予約権）の発行内容等確定に関するお知らせ
13日	・ Orion Corporation（フィンランド）と乳がん治療剤「Fareston」とパーキンソン病治療剤「Eldepryl」の中国における包括的販売提携の契約を締結
14日	・ 米国食品医薬品局（FDA）がDNAメチル化阻害剤「Dacogen」の急性骨髄性白血病の適応追加申請を受理
19日	・ 日本において抗がん剤「ハラヴェン」を新発売
28日	・ 欧州医薬品庁がてんかん治療剤「ゾネグラン」の単剤療法に関する適応追加申請を受理
29日	・ 米国食品医薬品局（FDA）よりAMPA受容体拮抗剤「ペランパネル（E2007）」の新薬承認申請に関する予備審査結果を受領
2011年8月 2日	・ 当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針（買収防衛策）の継続について
10日	・ 日本において大腸検査CTコロノグラフィー用の炭酸ガス送気装置「プロトCO2L」の製造販売承認を取得
17日	・ メキシコに医薬品販売会社を設立
29日	・ 日本において膵消化酵素補充剤「リパクレオン」を新発売
31日	・ 日本において抗リウマチ薬「T-614」を新薬承認申請

*年月日はニュースリリース発信日を記載しております。

12. 主なニュースリリース

年 月 日	概 要
2011年9月 1日	・ 第29回国際てんかん学会でエーザイのてんかん領域における開発品・製品の最新試験データ発表
2日	・ プロトンポンプ阻害剤「パリエット／アシフェックス エクステンディッド・リリース・カプセル50mg」の開発終結について
6日	・ 日本において「新セルベール整胃＜錠＞」「新セルベール整胃＜細粒＞」を新発売
7日	・ 外部リソースの有効活用によりエーザイの新薬後期臨床開発を加速 ー マルチキナーゼ阻害剤「E7080」に関するS F J社との共同開発契約締結ー
14日	・ 日本において「アリセプト」の高度アルツハイマー型認知症に係る特許権存続期間の延長が確定
26日	・ ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体「ヒュミラ」、日本において 関節リウマチにおける関節の構造的損傷の防止に関する適応を追加申請
28日	・ 日本において体重の少ない若年性特発性関節炎患者様向けの新製剤 「ヒュミラ皮下注 20mgシリンジ0.4mL」を新発売
2011年10月 17日	・ 米国ジョンス・ホプキンス大学との神経領域における創薬研究の共同研究契約を締結

*年月日はニュースリリース発信日を記載しております。

13. 主要開発品

1) 日米欧の開発品

<開発品一覧>

品目	効能効果等 *1	開発ステージ	領域
承認取得品			
○ ハラヴェン（乳がん）		（日、スイス）承認	がん・支持療法
◎ ヒュミラ（若年性特発性関節炎）	効能	（日）承認	血管・免疫反応
○ ワソラン（小児における用法・用量）	用法	（日）承認	血管・免疫反応
◎ ワーファリン（小児における顆粒剤の用法・用量）	用法	（日）承認	血管・免疫反応
◎ ワーファリン（顆粒剤）	剤形	（日）承認	血管・免疫反応
申請中・申請準備中開発品			
◎ E2007（部分てんかん）		（欧）申請（米）再提出準備中	神経
SEP-190（不眠症）		（日）申請	神経
E7040（肝細胞がんに対する肝動脈塞栓療法）		（日）申請	がん・支持療法
◎ T-614（関節リウマチ）		（日）申請	血管・免疫反応
◎ ソネグラン（てんかん単剤療法）	効能	（欧）申請	神経
◎ Dacogen（急性骨髄性白血病(AML)）	効能	（米）申請	がん・支持療法
◎ ヒュミラ（関節の構造的損傷の防止）	効能	（日）申請	血管・免疫反応
Inovelon（経口懸濁液）	剤形	（欧）申請	神経
臨床試験中開発品			
○ E2007（全般てんかん）		（国際共同治験）PⅢ	神経
E2080（レノックス・ガストー症候群）		（日）PⅢ	神経
E5564（重症敗血症）		（国際共同治験）PⅢ	血管・免疫反応
E6014（口腔粘膜炎）		（米）PⅢ	がん・支持療法
E7080（甲状腺がん）		（国際共同治験）PⅢ	がん・支持療法
◎ ハラヴェン（非小細胞肺癌がん）		（国際共同治験）PⅢ	がん・支持療法
ハラヴェン（肉腫）		（国際共同治験）PⅢ	がん・支持療法
MORAb-003（プラチナ感受性卵巣がん）		（国際共同治験）PⅢ	がん・支持療法
○ MORAb-003（プラチナ耐性卵巣がん）		（米欧）PⅢ	がん・支持療法
アリセプト（レビー小体型認知症）	効能	（日）PⅢ	神経
ソネグラン（てんかん小児適応）	効能	（欧）PⅢ	神経
E0302（筋萎縮性側索硬化症(ALS)）		（日）PⅡ/Ⅲ	神経
AS-3201（糖尿病性神経障害）		（米欧）PⅡ/Ⅲ	神経
ヒュミラ（潰瘍性大腸炎）	効能	（日）PⅡ/Ⅲ	血管・免疫反応
○ バリエット（低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制）	効能	（日）PⅡ/Ⅲ	消化器
E2007（部分てんかん）		（日）PⅡ	神経
E2007（神経因性疼痛）		（米欧）PⅡ	神経
E2007（多発性硬化症）		（欧）PⅡ	神経
E2007（片頭痛予防）		（米）PⅡ	神経
E5501（特発性血小板減少性紫斑病(ITP)）		（米）PⅡ	がん・支持療法
E5501（肝疾患に伴う血小板減少症(TLD)）		（米）PⅡ	がん・支持療法
E5555（急性冠症候群）		（日米欧）PⅡ	血管・免疫反応
E5555（アテローム血栓症）		（日米欧）PⅡ	血管・免疫反応
◎ E6005（アトピー性皮膚炎）		（日）PⅡ	血管・免疫反応
E6201（乾癬）		（米欧）PⅡ	血管・免疫反応
E7080（子宮内膜がん）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
E7080（メラノーマ）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
E7080（グリオーマ）		（米）PⅡ	がん・支持療法
◎ ハラヴェン（肉腫）		（日）PⅡ	がん・支持療法
ハラヴェン（前立腺がん）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
E7820（大腸がん）		（米）PⅡ	がん・支持療法
E7850（前立腺がん等）		（米）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-003（非小細胞肺癌がん）		（米）PⅡ	がん・支持療法
○ MORAb-004（メラノーマ）		（米）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-009（中皮腫）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
ONTAK（メラノーマ）	効能	（米）PⅡ	がん・支持療法
○ Dacogen（AML 小児適応）	効能	（米）PⅡ	がん・支持療法
バリエット（機能的ディスペプシア）	効能	（日）PⅡ	消化器
アリセプト（高用量製剤<23mg錠>）	用法、剤形	（日）PⅡ	神経

*1 効能：効能効果追加、用法：用法用量追加、剤形：剤形追加 P = Phase：臨床試験段階

- 2011 年 3 月期第 1 四半期に開始した、抗がん剤「ONTAK」の末梢性 T 細胞リンパ腫（PTCL）の適応追加のためのフェーズⅢ試験は、改良型新製剤の開発を優先するため、一旦中止しました。
- 2011 年 9 月、欧米で、プロトンポンプ阻害剤「バリエット／アシフェックスエクステンドリリース 50mg 製剤」について、開発を終結することを決定し、申請を取り下げました。

○：2011 年 4 月以降の進捗、◎：2011 年 7 月以降の進捗

(1) がん・支持療法

製品名：ハラヴェン 開発品コード：E7389 一般名：エリブリン (抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤)

〔概要〕 クロイツカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。乳がんをはじめ、各種固形がんに効果を期待しています。米国・シンガポール・欧州・日本・スイス等、34カ国で承認を取得しました。現在、米国・欧州において再発・転移性乳がん化学療法のセカンドラインをめざしたフェーズⅢ試験を実施しています。

乳がん	○ 日本 承認 (2011年4月) ○ スイス 承認 (2011年5月)	注射剤
非小細胞肺がん	◎ 国際共同治験 PⅢ	注射剤
前立腺がん	米国 PⅡ 欧州 PⅡ	注射剤
肉腫	国際共同治験 PⅢ ◎ 日本 PⅡ	注射剤

開発品コード：E7820 (抗がん剤／ $\alpha 2$ インテグリン発現抑制剤)

〔概要〕 血管内皮細胞の接着分子であるインテグリン $\alpha 2$ の発現抑制作用により血管新生を阻害します。

大腸がん	米国 PⅡ	経口剤
------	-------	-----

開発品コード：E7080 (抗がん剤／VEGF受容体チロシンキナーゼ阻害剤・マルチキナーゼ阻害剤)

〔概要〕 血管内皮増殖因子 (VEGF) の受容体であるVEGFR2のチロシンキナーゼおよび血管新生や腫瘍増殖に関わる他の複数のキナーゼをバランスよく阻害する、血管新生・腫瘍増殖阻害剤です。各種固形がんに効果を期待しています。

甲状腺がん	国際共同治験 PⅢ 2013年度申請予定	経口剤
子宮内膜がん	米国 PⅡ 欧州 PⅡ	経口剤
メラノーマ	米国 PⅡ 欧州 PⅡ	経口剤
グリオーマ	米国 PⅡ	経口剤

開発品コード：MORAb-003 一般名：farletuzumab (抗がん剤／モノクローナル抗体)

〔概要〕 葉酸受容体 α (FRA) に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。

プラチナ感受性卵巣がん	国際共同治験 PⅢ 2012年度申請予定	注射剤
○ プラチナ耐性卵巣がん	米国 PⅢ 欧州 PⅢ	注射剤
非小細胞肺がん	米国 PⅡ	注射剤

開発品コード：MORAb-004 (抗がん剤／モノクローナル抗体)

〔概要〕 Tumor endothelial marker 1 (TEM-1)/エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。

○ メラノーマ	米国 PⅡ	注射剤
---------	-------	-----

開発品コード：MORAb-009 一般名：amatuximab (抗がん剤／モノクローナル抗体)

〔概要〕 メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。

中皮腫	米国 PⅡ 欧州 PⅡ	注射剤
-----	----------------	-----

製品名：**Dacogen** 開発品コード：**E7373** 一般名：**デシタピン**（DNAメチル化阻害剤）

【概要】DNAメチル化阻害による細胞分化誘導作用を有します。すでに米国で骨髄異形成症候群（MDS）治療剤として承認を取得しています。

◎	【効能・効果追加】急性骨髄性白血病（AML）	米国	申請（2011年5月）受理（同年7月）	注射剤
○	【効能・効果追加】急性骨髄性白血病（AML）小児適応	米国	PII	注射剤

開発品コード：**E7850** 一般名：**irofulven**（抗がん剤／DNA合成阻害剤）

【概要】DNA合成阻害により各種固形がんの効果期待しています。

前立腺がん等	米国	PII	注射剤
--------	----	-----	-----

開発品コード：**E5501／AKR-501**（血小板減少症治療剤／トロンボエチン受容体作動剤）

【概要】トロンボエチン受容体のアゴニストで、血小板増加を促進させる経口の新規化合物です。血小板減少を示す病状への効果を期待しています。

特発性血小板減少性紫斑病（ITP）	米国	PII	2013年度申請予定	経口剤
肝疾患に伴う血小板減少症（TLD）	米国	PII		経口剤

開発品コード：**E6014** 一般名：**グルタミン**（口腔粘膜炎症治療剤／グルタミン懸濁液）

【概要】グルタミン懸濁液製剤です。化学療法に伴う口腔粘膜炎症に対して保護作用を示します。

口腔粘膜炎症	米国	PIII	経口懸濁剤
--------	----	------	-------

製品名：**ONTAK** 開発品コード：**E7272** 一般名：**denileukin diftitox**

（抗がん剤／インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤）

【概要】インターロイキン2（IL-2）の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上のIL-2受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。すでに米国でCD25（IL-2受容体の構成要素）陽性の皮膚T細胞リンパ腫治療剤として承認を取得しています。

【効能・効果追加】メラノーマ	米国	PII	注射剤
----------------	----	-----	-----

・2011年3月期第1四半期に開始した末梢性T細胞リンパ腫（PTCL）の適応追加のためのフェーズⅢ試験は、改良型新製剤の開発を優先するため、一旦中止しました。

開発品コード：**E7040**（血栓塞栓用ビーズ／医療機器）

【概要】ポリビニルアルコール高分子からなる親水性の球状微粒子であり、注入用カテーテルを通じて対象の血管を物理的かつ選択的に塞栓する血管塞栓用ビーズです。微細で均一な球状の粒子であるため、血管径や腫瘍の大きさ等の対象範囲に合わせて、精密な塞栓が期待できます。

肝細胞がんに対する肝動脈塞栓療法	日本	申請（2010年12月）	血管塞栓材
------------------	----	--------------	-------

（2）神経

製品名：**アリセプト** 開発品コード：**E2020** 一般名：**ドネペジル**（アルツハイマー型認知症治療剤）

【概要】神経伝達物質のアセチルコリンを分解する酵素であるアセチルコリンエステラーゼを阻害することにより、脳内アセチルコリン濃度を高め、アルツハイマー型認知症（AD）の認知症症状の進行を抑制します。軽度および中等度のAD治療剤として、すでに世界90カ国以上で承認されており、米国、日本、カナダ、中南米やアジアの一部の国などでは高度ADにも承認されています。

【効能・効果追加】レビー小体型認知症	日本	PIII	2012年度申請予定	経口剤
【用法・用量、剤形追加】高用量製剤＜23mg錠＞	日本	PII		経口剤

○：2011年4月以降の進捗、◎：2011年7月以降の進捗

開発品コード：**E2007** 一般名：**ペランパネル** (AMPA受容体拮抗剤)

[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。神経疾患に対し様々な効果を期待しています。部分てんかんの併用療法に加え、全般てんかんの適応取得をめざした開発を進めています。また、部分てんかんの単剤療法、レノックス・ガストー症候群などの臨床試験を計画しています。			
部分てんかん	○ 欧州 申請(2011年5月) 受理(同年6月) ◎ 米国 再提出準備中 日本 PⅡ		経口剤
全般てんかん	○ 国際共同治験 PⅢ		経口剤
神経因性疼痛	米国 PⅡ 欧州 PⅡ		経口剤
多発性硬化症	欧州 PⅡ		経口剤
片頭痛予防	米国 PⅡ		経口剤

開発品コード：**AS-3201** 一般名：**ラニレスタット** (糖尿病合併症治療剤/アルドース還元酵素阻害剤)

[概要] アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞内のソルビトール蓄積を抑制します。糖尿病の代表的な合併症である糖尿病性神経障害の治療剤として開発を進めています。			
糖尿病性神経障害	米国 PⅡ/Ⅲ 欧州 PⅡ/Ⅲ		経口剤

製品名：**ソネグラン** 開発品コード：**E2090** 一般名：**ソニサミド** (てんかん治療剤)

[概要] 幅広い抗てんかんスペクトラムを有し、忍容性の高いてんかん治療剤です。すでに成人部分てんかんを対象に併用療法の適応を取得しています。			
◎ 【効能・効果追加】てんかん単剤療法	欧州 申請(2011年6月) 受理(同年7月)		経口剤
【効能・効果追加】てんかん小児適応	欧州 PⅢ	2011年度申請予定	経口剤

開発品コード：**E0302** 一般名：**メコバラミン** (筋萎縮性側索硬化症)

[概要] メコバラミン(生体内補酵素型ビタミンB ₁₂)製剤であり、傷ついた末梢神経を修復する作用があります。すでに末梢性神経障害治療剤として広く使われており、新たに、筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療剤をめざしています。			
筋萎縮性側索硬化症(ALS)	日本 PⅡ/Ⅲ		注射剤

開発品コード：**SEP-190** 一般名：**エスソピクロン** (不眠症治療剤/GABA-A受容体作動剤)

[概要] 非ベンゾジアゼピン系に属するGABA-A受容体作動剤で、睡眠導入剤として、一過性不眠、短期不眠や高齢者の不眠に効果を期待しています。			
不眠症	日本 申請(2010年11月)		経口剤

製品名：**Inovelon(欧)/BANZEL(米)** 開発品コード：**E2080** 一般名：**ルフィナミド** (てんかん治療剤)

[概要] 新規構造のトリアゾール誘導体で、過剰電荷を帯びている脳内ナトリウムチャネルの活動を調節します。すでにレノックス・ガストー症候群の併用療法として、欧州では「Inovelon」、米国では「BANZEL」のブランド名で承認を取得しています。			
【剤形追加】経口懸濁液	欧州 申請(2010年9月) 受理(同年10月)		経口剤
レノックス・ガストー症候群の併用療法	日本 PⅢ	2012年度申請予定	経口剤

(3) 血管・免疫反応

製品名：**ヒュミラ** 開発品コード：**D2E7** 一般名：**アダリムマブ** (ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体)

【概要】 ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体であり、自己免疫疾患の炎症反応に関わる中心的なサイトカインであるTNF α を中和します。日本では関節リウマチ、乾癬、クローン病、強直性脊椎炎に加えて若年性特発性関節炎の適応を取得しています。			
◎	【効能・効果追加】 若年性特発性関節炎	日本 承認 (2011年7月)	注射剤
◎	【効能・効果追加】 関節の構造的損傷の防止	日本 申請 (2011年9月)	注射剤
	【効能・効果追加】 潰瘍性大腸炎	日本 PⅡ/Ⅲ 2011年度申請予定	注射剤

開発品コード：**E5564** 一般名：**エリトラン** (重症敗血症治療剤/エンドトキシン拮抗剤)

【概要】 エンドトキシン拮抗作用により、炎症性サイトカインの遊離を阻害し、エンドトキシンによって引き起こされる臨床症状の発現を抑制します。			
	重症敗血症	国際共同治験 PⅢ	注射剤

開発品コード：**E5555** (トロンビン受容体拮抗剤)

【概要】 トロンビン受容体 (PAR-1) と選択的に結合し、トロンビンが介在する血小板や血管平滑筋細胞の活性化を抑制し、血小板凝集抑制作用と平滑筋増殖抑制作用を示します。			
急性冠症候群		米国 PⅡ	経口剤
		欧州 PⅡ	
		日本 PⅡ	
アテローム血栓症		米国 PⅡ	経口剤
		欧州 PⅡ	
		日本 PⅡ	

開発品コード：**E6201** (新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤)

【概要】 新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤です。乾癬において、炎症性の細胞内シグナル伝達の抑制や皮膚の上皮細胞の異常増殖を抑制することによる効果を期待しています。			
乾癬		米国 PⅡ	外用剤
		欧州 PⅡ	

開発品コード：**E6005** (ホスホジエステラーゼ4阻害剤)

【概要】 細胞内情報伝達物質サイクリックAMP の分解酵素であるホスホジエステラーゼ4の働きを阻害します。アトピー性疾患の諸症状を抑える治療薬となることを期待しています。			
◎	アトピー性皮膚炎	日本 PⅡ	外用剤

開発品コード：**T-614** 一般名：**イグラチモド** (関節リウマチ治療剤)

【概要】 炎症性のサイトカインおよび免疫グロブリン産生を抑制し、関節リウマチへの効果を期待しています。			
	関節リウマチ	日本 申請 (2011年8月)	経口剤

製品名：**ワーファリン** 一般名：**ワルファリンカリウム** (経口抗凝固剤)

【概要】 ビタミンKに拮抗し、血液凝固因子の産生を阻害することにより抗凝固作用を示します。成人における血栓塞栓症の治療及び予防として一般的に広く使用されています。また本剤は、厚生労働省の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において、小児に対する医療上の有用性が高い品目として位置づけられており、新たに承認を取得した顆粒剤についても小児に対する適応について承認されました。			
◎	【剤形追加】 顆粒剤	日本 承認 (2011年7月)	経口剤
◎	【用法・用量追加】 小児における顆粒剤の用法・用量	日本 承認 (2011年10月)	経口剤

○：2011年4月以降の進捗、◎：2011年7月以降の進捗

製品名：ワソラン 一般名：ベラパミル （カルシウム拮抗性不整脈治療剤）

【概要】 カルシウム拮抗作用により、心臓の興奮伝導を遅らせて頻脈性の不整脈を整える他、冠血管拡張作用、末梢血管拡張作用を有し、成人における虚血性心疾患及び頻脈性不整脈の治療として一般的に広く使用されています。また本剤は、厚生労働省の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において、小児に対する医療上の有用性が高い品目として位置づけられ、小児の頻脈性不整脈に対する適応について承認されました。

○	【用法・用量追加】小児における用法・用量	日本 承認（2011年5月）	経口剤 注射剤
---	----------------------	----------------	------------

（４）消化器

製品名：パリエット／アシフェックス 開発品コード：E3810 一般名：ラベプラゾール （プロトンポンプ阻害剤）

【概要】 プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌などの承認を取得しています。

○	【効能・効果追加】低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制	日本 PⅡ/Ⅲ	経口剤
---	--	---------	-----

	【効能・効果追加】機能性ディスペプシア	日本 PⅡ	経口剤
--	---------------------	-------	-----

- ・2011年9月、欧米で、プロトンポンプ阻害剤「パリエット／アシフェックスエクステンドリリース50mg製剤」について、開発を終結することを決定し、申請を取り下げました。

2) アジアの開発品

製品名：**グルファスト** 一般名：**ミチグリニド** (速効型インスリン分泌促進剤)

[概要] 膵臓のβ細胞スルフォニルウレア受容体と選択的に結合し、膵臓からのインスリン分泌を促進することによって血糖の低下作用を示します。＜キッセイ薬品からのライセンス品＞

2型糖尿病	上市：タイ	経口剤
	承認：フィリピン	
	申請：インドネシア、マレーシア	

製品名：**ガスモチン** 一般名：**モサプリド** (消化管運動機能改善剤)

[概要] 選択的なセロトニン(5-HT₄)受容体アゴニストによる消化管運動機能改善剤であり、アセチルコリン遊離の増大を介して消化管運動促進作用および胃排出促進作用を示します。＜大日本住友製薬からのライセンス品＞

機能的胃腸症	上市：タイ、フィリピン	経口剤
	承認：ベトナム	
	申請：マレーシア、ミャンマー、ラオス、カンボジア	

一般名：**クレブジン** (慢性B型肝炎治療剤)

[概要] DNAポリメラーゼ阻害による抗ウイルス作用に基づく慢性B型肝炎治療剤です。＜ブグアン製薬からのライセンス品＞

慢性B型肝炎	上市：フィリピン(製品名 Revovir)	経口剤
	申請：インドネシア、タイ、ベトナム、インド、中国	

製品名：**ユリーフ** 一般名：**シロドシン** (前立腺肥大症に伴う排尿障害治療剤)

[概要] 選択的α₁A受容体遮断剤であり、主に前立腺に存在するα₁A受容体を遮断することにより、前立腺の緊張を緩和して尿道抵抗を改善し、前立腺肥大症に伴う排尿障害を改善します。＜キッセイ薬品からのライセンス品＞

前立腺肥大症に伴う排尿障害	申請：シンガポール、タイ	経口剤
---------------	--------------	-----

一般名：**cinitapride** (上部消化管機能改善剤)

[概要] 消化管神経叢に存在する5-HT₂および5-HT₄受容体を刺激することによりアセチルコリンの遊離を増大させ、上部消化管運動を改善します。また抗ドーパミン作用も有し、ドーパミン受容体を阻害することによりアセチルコリンの放出抑制を解除し上部消化管機能を改善します。＜Almirall社からのライセンス品＞

◎ 機能的ディスペプシア	申請：中国	経口剤
--------------	-------	-----